



0^{ゼロ}から創る奈良

奈良市長

2016.2.21 Vol.74

仲川げん

ニュースレター

書：紫舟

NEXT

4

TOPIC

100年目の悲願

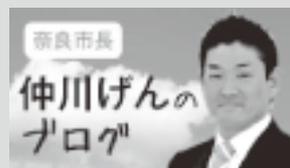
現東山霊園火葬場は、大正5年(1916年)に開設され、市民生活に一日たりとも欠かすことの出来ない施設として、長年重要な役割を担ってきました。しかし、老朽化が著しく、機能面でも旧式の炉は一日一回しか使用できないため、対応能力に大きな問題を抱えています。ちなみに奈良市の昨年度の年間死亡者数は3,438名です。20年後には約5,000人に達する見込みとなっており、現在でもすべての利用希望者に応じられていない現状を考えると、早期の新斎苑建設が急務です。

一方、市の記録を紐解くと、新斎苑計画は昭和30年代から何度となく検討されてきた経緯があります。前任の藤原市長時代にも、横井町山林(今回の計画と同じ場所)を候補地として具体的な計画が掲げられましたが、最終的に現施設の地元から反対請願が議会に出され、宙に浮いた形となっていました。このように、歴代市長の懸案事項として申し送りされてきた新斎苑事業は、もはや待ったなしの状況です。特に旧都祁・月ヶ瀬両村との合併に伴う、国の有利な財源(事業費57億

円のうち29億円を賄う合併特例債)の活用期限が平成32年度末と迫っていることもあり、不退転の覚悟で臨んでいます。

今回、市が掲げる計画は、最新の機能を備える事で従来の約2倍の対応能力を持つだけでなく、ご遺体をお預かりしてからお骨上げまでの時間を大幅に短縮し、一旦ご自宅にお戻り頂く事なく約1時間でお見送りが完了する形を採っています。また、施設イメージもガラッと変え、森の中の美術館やホテルのような落ち着いた空間をイメージしており、人を送る場所にふさわしい佇まいをめざしています。一方、昨年12月議会で一部会派から「コストが大幅に安く、地元も了解を得ている他の候補地案がある」との発言がありました。公式な情報提供がありませんので何とも言えませんが、既に説明を受けた他会派からの話では具体性はなく、我々としてはこれまで進めてきた現行計画を着実に実行することに集中したいと思えます。市民生活の最重要課題が政争の具とならないよう、しっかりと世論を高める必要があります。

市政の動きやmanifestoの進捗状況など、最新情報はツイッター、ブログにて更新中!



@nakagawagen

仲川 げん

■ Profile

1976年奈良県生まれ。立命館大学卒業後、国際石油開発帝石(株)及び奈良NPOセンターを経て2009年7月、奈良市長に就任。入札制度改革や土地開発公社の解散、ごみ行政の刷新など様々な市政改革に取り組む。日本のルーツとして、世界から尊敬される奈良をめざす。三児(6歳・4歳・1歳)と妻の5人家族。中核市市長会会長。AERA「日本を立て直す100人」に選定。現在二期目。

活動報告

[2015.7 - 2015.12]

仲川げんの動きをダイジェストでお伝えします。

さらに「見える市政」の実現に向け、市HPでは「奈良市ニュース」を毎週金曜日に配信中!

7/23 観光



リニア中間駅誘致の非公認キャラ「リニークン」。勝手連で応援してくれています。

7/27 子育て



西大寺地区の待機児童対策の一環として秋篠町に新たな保育園を開園しました。

7/29 教育



若者を海外へ送り込む「トビタテ!留学JAPAN」に市町村として初めて採択。

8/23 防災



佐保川地区自主防災防犯会と連携し、避難所の立上げから住民の受入れまでを実践。

8/28 行政



姉妹都市提携45周年の韓国慶州市を訪問。市民の力で日韓関係改善をめざします。

8/31 教育



「市立一条高校でスマホを活用した新しい教育を始める」と、文部科学省で記者発表。

9/5 スポーツ



民間運営で芝生が格段に良くなった鴻ノ池陸上競技場にラグビーポストを設置。

9/17 観光



旧知の辰巳琢郎さんを観光大使に。奈良の食に光を当てたPRを期待しています。

10/1 福祉



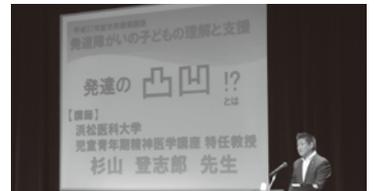
共同募金の街頭活動に参加。中学校の同級生のお母さんが駆け寄ってくれました。

10/4 観光



今年も田原地区の稲刈りにいとうまい子さんが参加。奈良の米を絶賛されていました。

10/29 福祉



発達障害に関する市民啓発講座を開催。多様な子どもを受け入れる街をめざします。

11/2 教育



あやめ池小学校で自校炊飯が始まりました。地産給食での食育を進めています。

11/6 行政



今年度から中核市市長会の会長を務めています。全国45市の意見調整に奔走。

11/10 福祉



市内の障害者施設を視察。熱心に鹿せんべいの証紙を貼る利用者に感動しました。

12/8 観光



JR奈良駅旧駅舎を外国人観光客対応の案内所に改修。7月にはスタバも入居予定。

学校給食の充実、順調に

マニフェストでもある中学校給食については、既に12月には平城中、この1月からは京西・二名・飛鳥・登美ヶ丘北中で新たに給食がスタートし、全21校中16校で導入が完了しました。国の予算削減もあり、予定よりも少し遅れていますが、28年度中には全校で実現したいと考えています。また、従来では外部業者からの持ち込みであった小学校の米飯についても、一部の学校で順次自校炊飯に切り替えています。市内産のコメを使用した炊き立てごはんを子どもたちも喜んでくれています。

子育て世代の転入、増加傾向

奈良市では、定住人口の増加を実現するため、「子育てしやすい街」の具体化に向け、様々な対策を講じています。実際、昨年度の子育て世帯の転入出差はプラス194世帯となっており、3年前に比べて2.3倍になっています。2月に、「なら、らぶ、りぶ」と題したHPを開設し、奈良が好きで転入した方・Uターンで都会から戻った若者等の生の声や奈良の魅力を紹介。また三世代で近居・同居する方への住宅取得・リフォームに対する補助制度を設けるなど、奈良への転入増につながる施策を積極的に展開しています。

仲川げん後援会

〒630-8301 奈良市高畑町826-1
FAX:0742-26-0398

ボランティア
募集中!

■ ご意見をお待ちしています

「市長への手紙」であなたの声をお聞かせください。「市長への手紙」は、市民の皆さんの市政に対するご意見やご提言を広く市政に反映させる制度として実施します。専用封筒は、市役所や公民館などの市の施設に配置しています。詳しくは、奈良市役所広報広聴課までお問い合わせください。

